

きずな



2016年 6月16日

NO 1076

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

6月13日、井原市議会6月定例会が開会しました。会期は6月27日までの15日間です。13日の開会日、瀧本豊文市長が議案の提案説明を行いました。その中で、市政の状況等について報告されました。つぎにその部分を掲載します。

市政の状況等について

三菱自動車工業株式会社の燃費データ改ざんによる水島製作所生産停止について

本市でも地域創生課へ相談窓口を設置するとともに、井原商工会議所や備中西商工会と連携し、情報収集に努めてまいりました。

その結果、本市といたしましては、影響を受けられた企業に対して、県の緊急融資支援策に対応できるよう「イバラノミクス」を拡充させ、6月1日から体制を整えたところであります。さらに、労働者の雇用の維持を図るため「雇用調整助成金の企業負担分への補助」を新たな支援策として、今議会に係る補正予算を計上しておりますので、よろしくお願いいたします。

本市のまちづくりの指針である「井原市第7次総合計画」の策定について

策定にあたっては、市民や有識者等50人で組織する「まちづくり計画推進会議」の設置や市民アンケート調査等を実施し、さまざまな分野の皆様からご意見を賜りたいと思っております。皆様から寄せられたご意見は、同推進会議の代表などで構成する「第7次総合計画策定審議会」に集約していただき、行政と市民との協働作業により、可能な限り目標を数値化した、わかりやすい計画に仕上げたいと考えております。

魅力発信に向けた取組みについて

井原市マスコットキャラクター「でんちゅうくん」は、ご案内のとおり、全国に向けて本市の情報発信を積極的に行っているところで、「ゆるキャラグランプリ」につきましても、平成25年度から参加しており、昨年は総合18位という好成績を収めたところであります。こうした中、でんちゅうくんの知名度は確実に広まり、ゆるキャラグランプリへの参加目的が十分に果たせたことから、今回を最後のエントリーにしたいと考えているところであります。インターネットによる投票は7月22日から10月24日までとなっておりますが、ベストテン入りを目指して頑張りたいと思っておりますので、市民皆様には応援をよろしくお願いいたします。

また、新たに井原の魅力首都圏に向けて強力に発信していくため、8月と11月の2回、東京・新橋の県アンテナショップを会場に、本市の特産品の販売や観光、移住・定住のPRを行うこととしており、この度の補正予算に事業費を計上させていただいております。



環境教育の推進について

恒例の環境フェアに加え、昨年度から取り組んでおります「井原市環境マイスター養成事業」を引き続き実施いたします。この事業は、環境問題に理解を深めた「環境マイスター」を育成するためのもので、今年度は7月9日に開講し、来年2月までに8回の講座を行なう予定であります。

また、新たな取り組みとして、夏休み期間中を利用し、小学生を対象とした「子どもエコ教室」を実施いたします。この教室では、小学生に分かりやすい体験型の教室を5回開催し、環境学習の強化に努めてまいります。

協働のまちづくりについて

各地区まちづくり協議会において、本年度4年目を迎えます「がんばる地域応援補助金」制度を活用し、各地区の特色を生かした取り組みをいただいているところであります。現在、11地区の「まちづくり協

2面へつづく

1面からつづく

議会」から申請のありました35事業を採択しており、2回目の募集では、5地区から10事業の申請をいただいたところであり、引き続き、地域の活性化や地域課題の解決に向けた取り組みを、積極的に支援してまいります。

消費生活について

昨年6月に開設しました「井原市消費生活センター」への相談件数が、開設前と比較し約32%増となっております。市広報やお知らせくんなどによる啓発の効果が認められる一方で、依然としてインターネットサイト利用料の架空請求詐欺や、電話で金融商品などの取引をかたった詐欺事案が増えている状況でありますので、今後も引き続き、消費者被害の防止に向けた啓発活動の充実を図ってまいります。

健康づくりの推進について

昨年度から取り組んでおります、「おせっかい保健師健康相談事業」、「健康カフェ事業」を引き続き実施し、地域で気軽に利用できる健康相談の場をより多く設け、市民の健康の保持・増進を図ってまいります。

また、チームで楽しみながら生活習慣の改善に取り組んでいただく「メタボレンジャー笑ってチャレンジカップ」は、より多くの方に参加していただけるよう、名称を「健康いばらチャレンジカップ」に変更し、1チーム3人の参加人数を2人から3人に緩和するとともに、チャレンジ期間を約2か月短縮し、期間中の講座にヨガやボクササイズを取り入れるなどの見直しを行ったところ、昨年度より多い17チーム43名の参加をいただき、今月5日に開幕式を終え、4か月のチャレンジがスタートしております。がん検診関係では、井原医師会のご協力により、本年度から肺がん検診の医療機関検診を開始しており、市内3病院1診療所で検診を受けることが可能となっております。また、総合検診の日曜検診を増やすなど受診率の向上を図り、健康寿命日本一を目指したまちづくりに努めてまいります。

臨時福祉給付金について

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵を受けにくい高齢者を支援するため、年金生活者等支援臨時福祉給付金が支給されます。本市で対象者となる方、約6千人には、すでに5月初めに、ご案内をお送りし、申請の受付は8月8日までとなっております。5月末現在で5千100人あまり、約86%の方から申請をいただいております。6月中旬には1回目の支給を行う予定となっております。

教育関係について

この度、井原中学校の新校舎建設に向けた基本設計が完了したところであります。これを踏まえ実施設計に入りますが、来年度には本体工事に着手したいと考えております。

**文化関係について**

かねてより制作を進めておりました、「まんが井原昔ばなし」が完成いたしました。「清兵衛（せいべい）の怪力」、「鬼の合戦」など、昔から市内で親しまれていた6編の民話をアニメーション化し、30分のDVDにまとめております。すでに、学校や公民館等公共施設に配布して、ご活用をお願いしているところでありますが、今後ホームページで一部公開するとともに販売用も制作しておりますので、この機会にぜひご覧いただき、私たちのふるさと井原を見つめ直すきっかけとしていただきたいと思います。

本市の平成27年度の会計状況について

一般会計を初め、特別、企業のそれぞれの会計が、おおむね順調に進展し、健全な財政収支で所期の成果が得られたものと考えております。

以上、市政の状況等について申し述べました。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るすることができます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円日曜版823円)